

建設現場へのICT導入を後押し 無料Web講習会を開催

～工事の流れからBIM/CIMと3次元データ活用まで基礎から体系的に解説～

北海道開発局では、地域を支える建設業の健全な発展を後押しするため、働き方改革の実現と、生産性向上に向けた取組を行っています。

インフラDX・i-Construction推進のため、これからICT活用工事の実施をご検討中の方を対象に令和8年度「ICTデータ活用講習会(Web)第2回」を下記のとおり開催します。

本講習会は、ICT活用工事の概要や一連の流れ、BIM/CIMの概要、3次元設計データ作成等をWebで学ぶものです。本講習会は6月に第1回を開催済みであり、第2回開催後も10月・11月と順次開催し、全4回を予定しています。

【ICTデータ活用講習会(Web)第2回概要】

■開催日時 令和8年8月3日(月) 13:10～16:30

■開催方法 Webによるオンライン配信(Microsoft Teams)

■開催内容 別紙ー1～4のとおり

※カリキュラムは6月19日(金)に開催した第1回の講習会と同一の内容ですが、デモンストレーションの使用ソフトが異なります。

■定員 1,000名(参加費無料・事前申込制)

※定員となり次第、募集を締め切りますので、あらかじめご了承ください。

■申込方法 別紙ー3【申込方法】にある申込フォームからお願いします。

■申込締切 令和8年8月3日(月) 12:00

■取材 事務局(札幌第1合同庁舎17階機械課)での取材を希望される報道関係者の方は令和8年7月31日(木) 17:00までに「会社名」「氏名」「連絡先」を下記アドレス宛てに送付をお願いします。

【送付先】hkd-ky-ict_kikai(at)gxb.mlit.go.jp ※(at)を@に置き換えて下さい。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311

事業振興部 機械課 建設情報・施工高度化推進官 林 朋幸(内線5394)

上席専門官 小笠原 敦司(内線5634)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



建設現場におけるICTの活用に関する講習会のご案内

ICTデータ活用講習会（Web）

第2回 令和8年8月3日（月）（全4回）

CPD
認定

※本講習会は、ICT活用工事の概要や流れのイメージをWeb講習で学習するものです。

・下記カリキュラムをご覧になったうえで、受講をご検討ください。開催案内は次頁以降です。

【カリキュラム】

デモは、建設システムのソフトを使用します。

・SiTE-Scope ・SiTECH 3D
・SiTE-NEXUS
・SiTE-STRUCTURE

（１） i-Constructionの推進

ICTの活用に至る社会的な背景の説明に始まり、ICT活用工事の一連の流れといった基本的な説明を行ったうえで、「自動化・遠隔化技術など」最新の施策の解説も行う。

（２） BIM/CIMの概要

BIM/CIMにかかる用語の解説など全体概要の説明に始まり、活用事例や最近の動向を説明する。

（３） ICT技術と工種の解説

技術のラインナップと土工における使い方（汎用的）を概要的に説明したうえで、小規模土工（導入型）や構造物工（橋脚・橋台）における技術の導入方法を解説。

（４） 3次元設計データ作成・納品データ作成の解説とデモンストレーション①

3次元設計データの作成方法と活用方法（出来形検査における効率化効果等）の説明

（５） 3次元設計データ作成・納品データ作成の解説とデモンストレーション②

BIM/CIMモデルの作成方法と活用方法（BIM/CIMの事例）の説明（工事）

（６） 3次元設計データ作成・納品データ作成の解説とデモンストレーション③

BIM/CIMモデルの作成方法と活用方法（BIM/CIMの事例）の説明（業務）

ICTデータ活用講習会 (Web)

第2回 (全4回)

※本講習会は、ICT活用工事の概要や流れのイメージをWeb講習で学習するものです。

◆日 時:令和8年8月3日(月) 13:10~16:30

Web配信

参加費無料

定員1000名

CPDの認定講習

※使用ソフトは、第1回(6/19(金))【終了】、第2回(8/3(月)):建設システム、第3回(10/16(金)):福井コンピューター、第4回(11/20(金)):建設システム です。

【本ご案内は、第2回のご案内です。各回のご案内は、催事1か月前程度を予定しております。】

※講習会の内容は、各回で同様の内容を想定しております。従って、CPDは、複数回参加された場合においても1回分の申請となります。

【カリキュラム】

デモは、建設システムのソフトを使用します。

・SiTE-Scope ・SiTECH 3D
・SiTE-NEXUS
・SiTE-STRUCTURE

- | | |
|--|-------------|
| ① 開会挨拶及び注意事項説明 | 13:10~13:20 |
| ② i-Constructionの推進 | 13:20~13:50 |
| ・ ICT活用工事の概要 | |
| ・ 一連の工事プロセスの解説 | |
| ・ ICT活用工事に関わる国交省の基準 | |
| ・ i-Construction2.0の最新の動向 | |
| ③ BIM/CIMの概要 | 13:50~14:20 |
| ④ ICT技術と工種の解説 | 14:20~14:40 |
| ⑤ 3次元設計データ作成・納品データ作成の
解説とデモンストレーション | 14:50~16:20 |
| ⑥ アンケート、CPD、質問対応等説明 | 16:20~16:30 |

※ご質問は、Web配信システムのQ&A機能でお受けします。回答は後日メールでお送りします。
※講義は合計3.0時間であり、CPDは3.0ユニット分の申請が可能です。
※CPDの受講者証明は、後日メールでお送りいたします。
※CPDの単位申請は、受講者各位で申請いただくようよろしくお願いいたします。



ICTデータ活用講習会 (Web)

第2回 (全4回)

※本講習会は、ICT活用工事の概要や流れのイメージをWeb講習で学習するものです。

◆日 時：令和8年8月3日（月）13:10～16:30

（12:50からWeb会場へ入場可能）

◆開催方法：Microsoft Teamsを使用したオンライン講習

◆定 員：1000名 土木学会CPD登録講習です。

（申込数が定員に達した場合は締め切ります）

◆申込締切：令和8年8月3日（月）12:00

◆申込方法：下記URLまたはQRコードの参加申込フォームより

参加申込QRコード



URL：<https://events.teams.microsoft.com/event/22786fcf-4ff5-490e-a523-d0733b35c7d8@30ee66af-2299-4330-acf6-4d679d9be0f6>

※URLをクリックすることで、登録フォームに飛びます。

※申込フォームの記載内容をよくお読みの上、申込願います。

○参加方法:ご登録いただいた後にお送りしている登録完了メールから

- ・上記、申込フォームにご登録いただいたメールアドレスへ、登録完了メール（差出人：講習会（セミナー）事務局）を、自動送信いたします。（ご登録の1分後程度に送信）
オンライン講習には、本メール内の『イベントに参加する』の箇所にある、URLからご参加いただけます。
- ・メールは、Microsoft社のシステムから自動送信しておりますが、メールソフトの仕様や設定により、『【有害なファイルが削除されました】』といった記載の表示や、『迷惑メールフォルダ』への分類などが生じ得ます。ご登録後に受信したメールは、Microsoft社のシステムから安全に送信しているメールであり、問題なく開けます。ただし、ご登録後に受信したものではない場合、迷惑メールの可能性もございますのでご注意ください。

○問い合わせ先

ICTデータ活用講習会 事務局

hkd-ky-ict_kikai(at)gxb.mlit.go.jp※(at)は@に変更願います。

令和8年度 北海道開発局主催 ICT講習会 ラインナップ

主な対象者

施工会社

建設コンサルタント・測量会社

経験者

■ICT活用工事講習会（ICT施工管理編）（実習）

【対象者】ICT機器の機能を概ね理解しており、実際の活用方法を知りたい方

【内 容】

- ・ICT活用工事の施工・施工管理の一連の作業を実習形式で学ぶ
- ・使用機器：レーザースキャナ、TS、UAV、GNSS、モバイル端末、点群処理ソフト、MGバックホウ（小規模）・MGバックホウ（中・大規模）



■3Dデータ活用講習会（実習：PCを使ったハンズオン形式）

【対象者】ICT建機に入力する3次元設計データや出来形管理資料（ヒートマップ）作成の基本操作を学びたい方

【内 容】

- ・3次元データ(BIM/CIMモデルや3次元設計、点群)の基本的な取扱方法を、PCを用いてハンズオン形式で実習
- ・ハンズオン実習内容：3次元設計データの作成、3次元点群データの処理、3次元設計データと点群データの重ね合わせ・土量算出、出来形管理資料（ヒートマップ）作成



■インフラDX・i-Constructionセミナー（対面・Web併用）

【対象者】ICT活用講習会（Web）等でICT活用工事の概要を理解している方

【内 容】

- ・今年度の国交省のICT関連施策の概要を説明
- ・トップランナー企業によるICTを効果的に活用した現場実例の紹介



【ステップアップ】

より詳しくICT活用工事での活用方法を知りたい。

初心者

■ICT活用工事講習会（ICT機器操作編）（実習）

【対象者】ICTの実機に触れて操作を学びたい方

【内 容】

- ・ICT活用工事や「3次元計測技術を用いた出来形管理要領」についての概要を講習
- ・ICT機器の基本的な操作方法を実機を使いながら講習
- ・使用機器：レーザースキャナ、TS、UAV、GNSS、モバイル端末、点群処理ソフト、MGバックホウ（小規模）・MGバックホウ（中・大規模）



【ステップアップ】

ICT機器を実際に操作してみたい。

【ステップアップ】

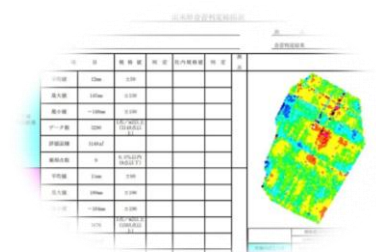
3次元設計データ作成の部分より詳しく学びたい。

■ICTデータ活用講習会（Web講習）

【対象者】これからICT活用工事の実施をご検討中の方

【内 容】

- ・ICT活用工事の基礎知識と、施工・出来形管理に使えるICTの基礎知識
- ・要望の高い工種について、ICT技術の活用方法を具体的に紹介
- ・3次元データ作成・納品データ作成方法をデモンストレーション



ICTへの習熟度

ICT施工未経験者等